

《大阪府立上方演芸資料館（ワッハ上方）の指定管理候補者の選定結果》

1 指定管理候補者 吉本興業グループ

構成団体：株式会社 よしもとクリエイティブ・エージェンシー
株式会社 よしもとデベロップメンツ

2 指定管理候補者の審査結果

(1) 選定方法

ワッハ上方については、平成 20 年度に策定した「財政再建プログラム（案）」に基づき、平成 22 年度をもって移転・規模縮小としていたところ、吉本興業から、吉本興業（グループ）自らが指定管理者となり、賃借料及び管理運営費の相当な削減、展示室集客の大幅な増を図るという提案を受け入れ、現地存続（規模縮小）するという結論に至った。

しかし、選定手続きの透明性を確保するため、この提案と同等若しくはこれを超える提案をする意思を持つ者が他にいないかの確認（参加意思確認手続）をしたところ、参加意思を表明した者はなかった。

これにより、次期指定管理者は、吉本興業を候補者として選定することとした。その選定に当たっては、外部有識者による「指定管理候補者選定委員会」を設置し、提案に基づき、管理能力の有無について審査した。

(2) 選定結果

- ・ 得点合計 77.9 点（97 点満点）
- ・ 大阪府の示す指定の要件（集客 40 万人以上、府からの管理運営委託料「0」等）を満たす提案であり、公の施設である上方演芸資料館の適正な管理運営が可能なものとして吉本興業グループを指定管理候補者として選定する。

【主な申請（提案）内容】

- ・ 公の施設として、特定のプロダクション等に偏らない平等・公平な施設運営を行うという方針が示されている。
- ・ 集客面では、吉本グループが運営する劇場との連携、招待券や年間パスの発行などの提案があった。
- ・ 運営面では、プロを目指す芸人やボランティアによる対話型の「おもてなし」で来館者の満足度を向上させるという提案があった。
- ・ また、広報や繁忙期の人員配置などにおいて吉本グループがバックアップするという提案があった。

3 指定予定期間

平成 23 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日（2 年間）

4 大阪府立上方演芸資料館指定管理候補者選定委員会委員（○は委員長）

- 小谷 寛子 弁護士（小谷法律事務所）
中川 博史 公認会計士・税理士（中川公認会計士税理士事務所）
中沢 義則 日本経済新聞社大阪本社 社会部 編集委員
林 千代 シナリオライター、特定非営利活動法人 上方演芸研進社 m y d o 理事長
吉田 豊 大阪商工会議所 地域振興部長